

# AWS Black Belt Online Seminar

## AWS 認定取得に向けて

2017.5.23

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社

Onikata Ai

# 本セミナーの概要

## 本セミナーの目的

- AWS 認定プログラムのご紹介
- 認定取得に向けた準備作業例のご紹介

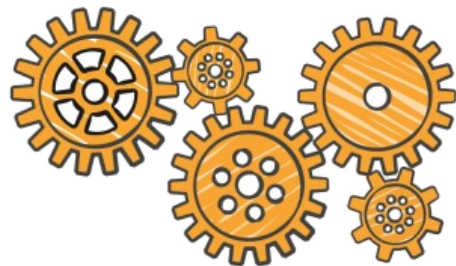
本資料をガイドとし、AWS 認定取得、認定取得準備、または AWS への取り掛かりをスムーズに進めていただけますと幸いです

## 対象の方

- AWS 初心者の方、AWS 認定をはじめて取得する方

# Agenda

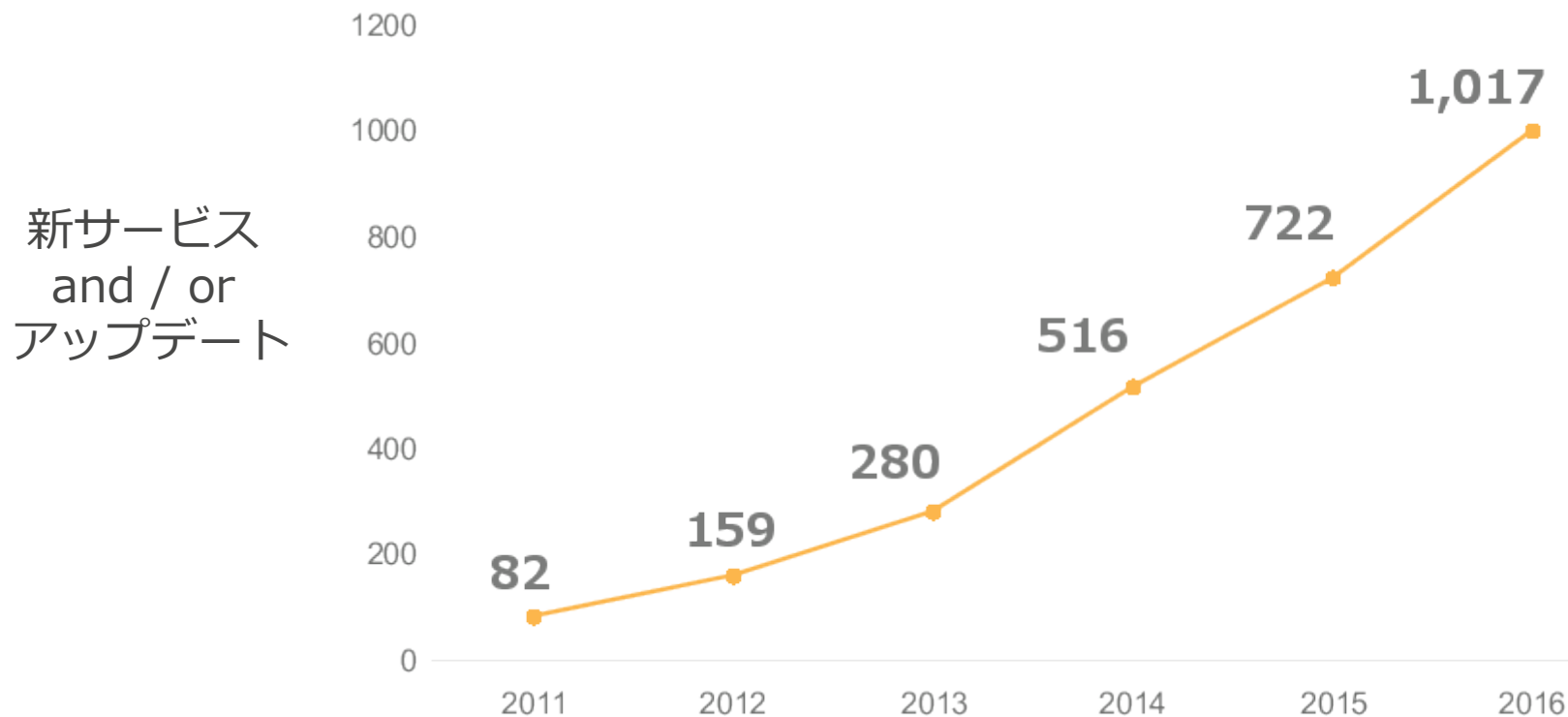
- イン트로ダクション
- AWS 認定プログラムについて
- 試験内容について
- 試験準備
- その他リファレンス



# イントロダクション

**企業のクラウド移行が加速するにつれ  
AWS のイノベーションは  
これまで以上に加速しています**

# AWS のイノベーションペース



# AWS 認定とは

**AWS 認定とは**  
**AWS サービスに関する**  
**知識とスキルを有していること**  
**を証明するもの**

# 認定取得のメリット



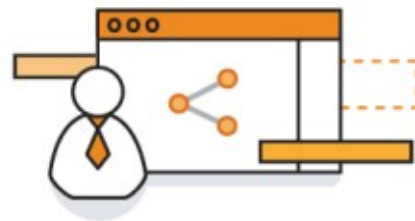
## エキスパートであることの証明

AWS 認定は、業界が認める資格であり、必要なスキルと技術知識を有する IT プロフェッショナルであることを証明します



## キャリアアップ

AWS 認定は、顧客、組織、採用担当者に対し、AWS ソリューションを構築するための技術と知識を有することを証明します



## コミュニティへの参加

AWS 認定ロゴを LinkedIn プロフィール、Eメール、Web サイト、名刺への配置および LinkedIn AWS 認定コミュニティメンバーになることができます



# 認定取得のメリット

## New! Certified Store Benefit

認定取得者向け AWS 認定グッズが購入できるようになりました。

※ 以下リンクからサインインし、[認定]-[特典]メニューにアクセスします。こちらで専用サイトにアクセスするためのコードが取得できます。

<https://www.aws.training/>



Associate Products Professional Products

Search

HOME > ASSOCIATE PRODUCTS

Sort By: Relevance



AWS Associate Journal  
\$6.50



AWS Certified Ladies Polo  
\$26.00



AWS Certified Laptop Sleeve  
\$14.75



AWS Certified Mens Polo  
\$26.00



AWS Certified Mouse Pad  
\$4.00



AWS Quench Water Bottle  
\$11.00

# 業界における調査

\$123,801

平均年俸

AWS 認定ソリューションアーキテクト  
- アソシエイトレベル取得者は業界で  
高い評価を得ています

# 資格取得者のコメント

“ AWS 認定資格は、社内で  
技術的な信頼を確立する  
のに役立ちました。”

– Todd Murchison  
Cloud Operations Engineer, Adobe  
Systems

“ 会社は今、私のことを  
その分野のエキスパート  
として認識しています。  
同僚には頻繁に、クラウドソリュー  
ションについて相談されます。”

– Deepak Panth  
Architect, Accenture

# AWS 認定プログラムについて

# AWS 認定のロードマップ



# AWS 認定の種類 - 対象者

## Architecting

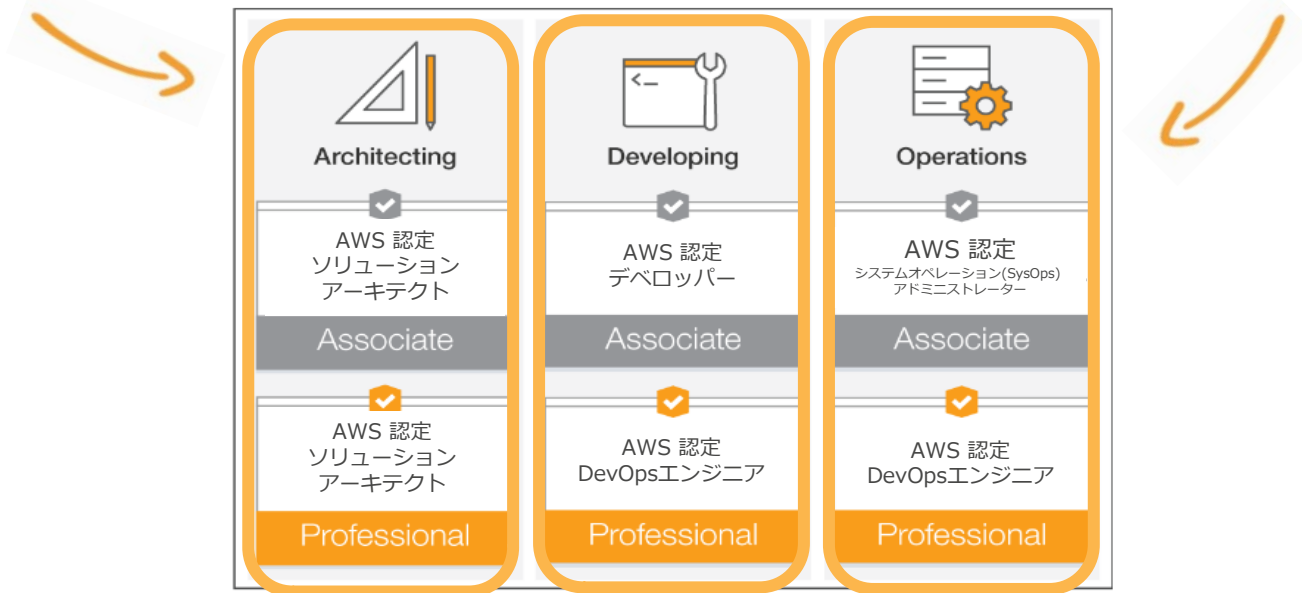
ソリューションアーキテクト、AWS でのアプリケーションやシステムの設計者向け

## Developing

AWS でのクラウドアプリケーションを開発するソフトウェア開発者向け

## Operations

SysOps アドミニストレーター、AWS プラットフォームでのシステムおよびアプリケーションデプロイ担当者向け



# AWS 認定の種類 - アソシエイトとプロフェッショナル



アソシエイトの認定を取得後、所定のロール  
内でプロフェッショナルにお進みください

アソシエイト  
基礎レベルの AWS  
知識とスキルを証明



プロフェッショナル  
応用レベルの AWS  
知識とスキルを証明

# NEW !

2つのスペシャリティ認定が  
追加されました (5/30 Update)



**Architecting**

✓

AWS 認定  
ソリューション  
アーキテクト

Associate

✓

AWS 認定  
ソリューション  
アーキテクト

Professional



**Developing**

✓

AWS 認定  
デベロッパー

Associate

✓

AWS 認定  
DevOpsエンジニア

Professional



**Operations**

✓

AWS 認定  
システムオペレーション(SysOps)  
アドミニストレーター

Associate

✓

AWS 認定  
DevOpsエンジニア

Professional

**Specialty Certifications**

Requires one current certification  
other than a Specialty



✓

AWS Certified  
Advanced Networking

Specialty



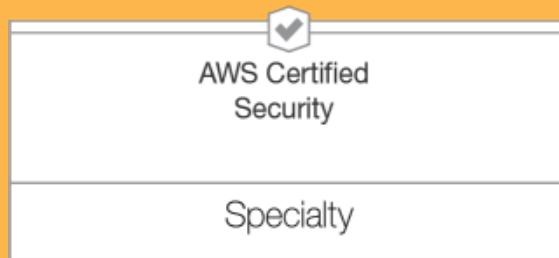
✓

AWS Certified  
Big Data

Specialty



# 近日公開



# 関連情報

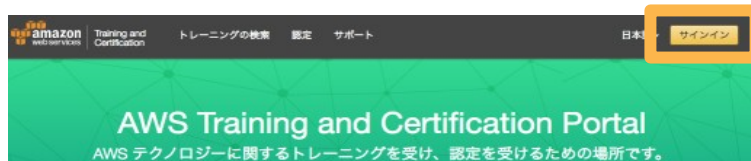
- 認定要件
  - 各試験に**合格**すること
  - 「ソリューションアーキテクト - プロフェッショナル」取得には「ソリューションアーキテクト - アソシエイト」取得が必要
  - 「DevOps エンジニア - プロフェッショナル」取得には「システムオペレーション (SysOps) アドミニストレーター - アソシエイト」または「デベロッパー - アソシエイト」取得が必要
  - 「AWS Certified Advanced Networking - Specialty」「AWS Certified Big Data - Specialty」取得には「アソシエイト」レベルの認定いずれかが必要
- 試験受験料
  - アソシエイトレベル **16,200 円** (税込)、プロフェッショナルレベル **32,400 円** (税込) ※ 領収書は認定試験申し込みページより受領可能
- 試験時間
  - アソシエイトレベル **80 分間**、プロフェッショナルレベル **170 分間**

# 関連情報

**NEW!** 2017/5/15 より新しいトレーニング & 認定ポータルサイトがオープンしています。一部試験申し込み手順もアップデートされました。

- 試験申し込みに必要な作業

- [AWS Training and Certification Portal ( <https://www.aws.training/> ) ] へアクセスします
- 言語を [日本語] に変更し、[サインイン] をクリックします



- 一般ユーザーの方は「サインイン」、APN パートナーの方は「APN ポータルからログイン」に進みます

## 一般ユーザーの方

**NEW!** amazon.co.jp のサインイン情報を使用します。アカウントをお持ちでない方は「サインイン」をクリックし、「Amazon アカウントを作成」メニューへ進んでください。



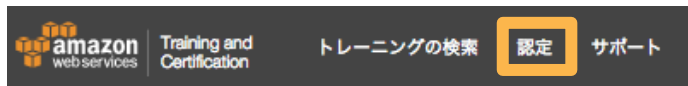
## APN パートナーの方

AWS Partner Network (APN) ポータル用のアカウントでサインインしてください。

# 関連情報

- 試験申し込みに必要な作業（続き）

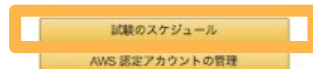
4. 上の方のメニューより[認定]をクリックします。



5. [試験のスケジュール] をクリックします。

## AWS 認定

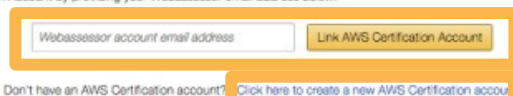
AWS 認定は、認定取得者が AWS に関する専門知識を有していることの証明となり、企業・団体が IT 関連の取り組みをリードする経験あるプロフェッショナルを探すのに役立ちます。AWS クラウドに関するお客様の専門性を証明するために、AWS のアソシエイトレベル認定試験とプロフェッショナルレベル認定試験の詳細についてご覧ください。



6. 認定情報を管理するための**認定アカウント**を準備します。（以前に1度処理を行ったことがある方はこのページは表示されません）

## AWS Certification Account

Create your new AWS Certification Account here. If you have an existing Webassessor account, link your certification history to an AWS Certification Account by providing your Webassessor email address below.



## 以前認定試験を受験されたことがある方

以前の受験登録で使用していた ID (emailアドレス) を入力し、[Link AWS Certification Account] をクリックします。その後メールにてアクティブ化します。

## はじめて受験される方

[Click here to create a new AWS Certification account] をクリックします。続けて [認定アカウントの作成] 画面で [はい] をクリックします。

# 関連情報

- 試験申し込みに必要な作業（続き）

7. アカウントの紐付けまたは作成が完了するとAWS 認定アカウントページにアクセスできます。

ホーム | マイプロフィール | 試験のスケジュールと管理 | デジタルバッジ | 取得済み認定 | 特典 | 取得認定情報の共有

お客様の**人口統計**情報は完了していません。このサイトを引き続き利用するには、情報を最後まで記入する必要があります。

このようなメッセージが出ている場合は、[マイプロフィール]メニューから追加の情報を入力してください。

8. 「試験のスケジュールと管理」 - 「試験の管理」をクリックします。

ホーム | マイプロフィール | **試験のスケジュールと管理** | デジタルバッジ | 取得済み認定 | 特典 | 取得認定情報の共有

試験の管理

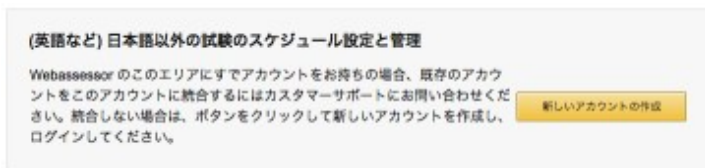
## 試験のスケジュール設定

[試験の管理] をクリックして認定試験のスケジュールを設定するか、模擬試験を登録してください。テスト配信  
スケジュールと、試験のスケジュールと管理の管理

試験の管理

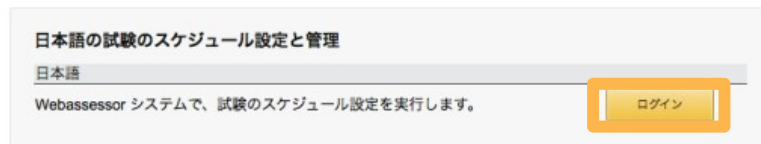
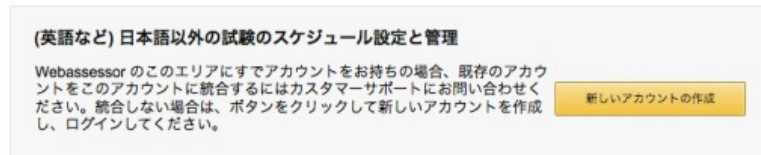
# 関連情報

- 試験申し込みに必要な作業（続き）
  - 受験する言語を選択します。



はじめて受験される方

[新しいアカウントの作成] をクリックします



以前認定試験を受験されたことがある方

[ログイン] をクリックします

## 10. 受験者ホームページが表示されます。

試験のスケジュール

試験名	スケジュールされた日	申し込み日	開始	詳細
-----	------------	-------	----	----

None found.

進行中の試験

# 関連情報

- 試験申し込みに必要な作業（続き）

11. 画面右上の [試験のお申し込み] をクリックします。



12. 受験する試験を選択し、[お申し込み] をクリックします。

AWS 認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト (SAA)

Pre-requisites:  
Retake Policy :



PR000006

オンサイト 監督

JPY 16,200

お申し込み

# 関連情報

- 試験申し込みに必要な作業（続き）

13. テストセンターを選択し、右上の [選択 Select] をクリックします。

## テストセンターの選択

以下のオプションを選択して、表示するテストセンターの一覧を絞り込んでください

国 / Country:  都道府県/State:  市町村/City:

テストを受けるテストセンターを選択してください。

### 利用可能なテストセンター

<input type="checkbox"/>	テスト会場名 / Testing Location Name	住所 / Address	市町村 / City	都道府県 / State	国 / Country	地図 / Map	会場に関する重要な情報 / Important Location Information
<input checked="" type="checkbox"/>	ISERVE Yaesu Nihonbashi Test Center	Room No. 502, Risho Building	Chuo-ku	Tōkyō (Tokyo)	Japan	<a href="#">地図</a>	



# 関連情報

- 試験申し込みに必要な作業（続き）

14. 日程、開始日時を選択し、下の制約事項読み、[上記の内容をすべて読み理解したことを確認し、これらの条件やルールに従うことに同意します。] をチェックします。その後右上の [選択 Select] をクリックします。

## 日時の選択

The screenshot displays a web interface for selecting an exam date and time. At the top right, there are two buttons: "選択 Select" and "キャンセル". Below them is an English message: "If you are unable to see an available day/time; it is likely there are none available at this location for the time period you are viewing. Please expand your view by selecting another month. Thank you." The main content is divided into two sections: "テストセンターの選択" (Test Center Selection) and "日程を選択" (Select Date). Under "テストセンターの選択", there is a radio button selected for "ISERVE Yaesu Nihonbashi Test Center, Room No. 502, Rishe Building, Chuo-ku, Tokyo [Tokyo] 103-0027". The "日程を選択" section shows a calendar for May 2017. The date "23" (May 23rd) is highlighted. Below the calendar is a "Select date" button. To the right of the calendar is the "開始日時を選択" (Select Start Time) section, which lists four time slots: "2:00 PM", "6:00 PM", "6:15 PM", and "6:30 PM". At the bottom of the page, there is a checkbox with the text: "上記の内容をすべて読み理解したことを確認し、これらの条件やルールに従うことに同意します。" (I have read and understood all the above content and agree to follow these conditions and rules.)

テストセンターの選択

- ISERVE Yaesu Nihonbashi Test Center  
Room No. 502, Rishe Building  
Chuo-ku, Tokyo [Tokyo] 103-0027

日程を選択

May, 2017							
Today							
wk	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
17		1	2	3	4	5	6
18	7	8	9	10	11	12	13
19	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	27
21	28	29	30	31			

Select date

開始日時を選択

- 2:00 PM
- 6:00 PM
- 6:15 PM
- 6:30 PM

上記の内容をすべて読み理解したことを確認し、これらの条件やルールに従うことに同意します。

# 関連情報

- 試験申し込みに必要な作業（続き）

15. ショッピングカートページを確認し、[チェックアウト] をクリックします。

16. 課金情報を入力し、[続ける] をクリックします。

## 課金情報

合計金額: JPY 16,200

### 課金情報:

名:

姓:

住所:

市:

国:

都道府県（先に国を選択してください）:

郵便番号:

金額:

Japan

Tōkyō [Tokyo]

JPY 16200.00

続ける 戻る / キャンセル

先に国を選択してください

# 関連情報

- 試験申し込みに必要な作業（続き）

17. 課金情報ページでクレジットカード情報を入力し、[送信] をクリックします。

## 課金情報

合計金額:

JPY 16,200

### 課金情報:

金額:

クレジットカード番号:

CVCナンバー:

カードの種類:

有効期限:



(これは何ですか?)

送信

戻る / キャンセル

18. ご購入の確認ページで内容を確認し、[完了] をクリックします。  
以上で申し込み作業は完了です。

# 関連情報

- 試験申し込み後の日程変更/キャンセル/確認
  - 以下の手順で日程変更/キャンセル/確認が可能
  - 1. <https://www.aws.training/> へアクセスします。
  - 2. 上の方のメニューで、[認定] をクリックします。
  - 3. [試験のスケジュール] をクリックし、AWS 認定アカウントページをオープンします。
  - 4. AWS 認定アカウントページで [試験の申し込み/管理] をクリックします。
  - 5. [試験の管理] をクリックします。
  - 6. 試験の管理ページで申し込んだ言語で [ログイン] をクリックします。
  - 7. 受験者ホームページで日程変更/キャンセル/確認が可能です。
- 日程変更/キャンセルは **72 時間前**まで無料
- 日程変更/キャンセルは **72 時間前**を過ぎた場合 **9,000 円**の手数料が発生
- 予約した試験当日に受験しなかった場合、受験料は返金対象にならない

# 関連情報

- 持ち物
  - パスポートなどの**身分証明書**を 2 種類  
どちらか 1 つには**本人の写真**が添付されている必要がある
  - 試験申し込み時にメールで送付される**認証コード**
- 秘密保持契約書 (NDA)
  - 認定プログラムの機密と価値を保護するため、AWS 認定プログラムアグリーメントの条件\*( <https://aws.amazon.com/jp/certification/certification-agreement/> )に同意する必要がある

# 関連情報

- 試験結果
  - 試験終了後、ただちに画面に表示される
- 再受験ポリシー
  - 不合格になった日から **14 日**以上経過後、再受験の申し込みが可能
  - 最初の受験日から **1 年**以内に同じ試験を **3 回**受験することが可能
- 試験合格後
  - E メールによる合格通知
  - 認定アカウントページから**認定証**と**ロゴデータ**をダウンロード可能、その他特典が利用可能
- 認定の有効期間
  - **2年**ごとに認定更新（再認定）が必要
  - 認定の有効期限が切れた場合、認証情報は失効
  - 再認定が必要かどうかは、E メールで通知

**New !**  
ロゴが新しく  
なっています



# 関連情報

- 再認定
  - AWS 認定を受けた方が再認定を受けるには、AWS 認定を受けてから 2 年以内に **再認定試験に合格**するか、より**レベルの高い試験に合格**する必要がある
- 再受験ポリシー
  - 不合格になった日から **14 日**以上経過後、再受験の申し込みが可能
  - 最初の受験日から **1 年**以内に同じ試験を **3 回**受験することが可能
- 再認定試験受験料
  - すべての試験 **8,100 円** (税込)
- 再認定試験時間
  - すべての試験 **80 分間**
- その他
  - FAQ <https://aws.amazon.com/jp/certification/faqs/>
  - 問い合わせ先 <http://aws.amazon.com/contact-us/aws-training/>

# 試験内容について



# 必要な知識と出題範囲の確認

必要な知識および出題範囲は以下認定案内ページの **試験ガイドのダウンロード** をクリックすることでダウンロードできます

## 認定案内ページ

ソリューションアーキテクト - アソシエイト

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-solutions-architect-associate/>

ディベロッパー - アソシエイト

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-developer-associate/>

システムオペレーション (SysOps) アドミニストレーター - アソシエイト

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-sysops-admin-associate/>

ソリューションアーキテクト - プロフェッショナル

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-solutions-architect-professional/>

DevOps エンジニア - プロフェッショナル

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-devops-engineer-professional/>

# 必要な知識と出題範囲の確認

必要な知識および出題範囲は以下認定案内ページの **試験ガイドのダウンロード** をクリックすることでダウンロードできます

## 認定案内ページ (NEW!)

AWS Certified Advanced Networking - Specialty

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-advanced-networking-specialty/>

AWS Certified Big Data - Specialty

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-big-data-specialty/>

# 必要な知識

## ソリューションアーキテクト - アソシエイトの場合

### 必要な AWS の知識

- AWS のコンピューティング、ネットワーク、ストレージ、データベースサービスの実践経験
- 大規模配信システムの設計に関する専門的な経験
- 伸縮自在性およびスケーラビリティの概念の理解
- AWS のグローバルインフラストラクチャの理解
- AWS に関連するネットワーク技術に関する理解
- AWS が提供するセキュリティ機能およびツール全般と、従来型サービスとの連携に関する高度な理解
- AWS プラットフォームでのクライアントインターフェイスに関する高度な理解
- AWS のデプロイおよび管理サービスに関する実践経験

AWS だけの知識では回答  
が難しい設問もあります

### 必要な IT 全般の知識

- ウェブサーバー、キャッシュ、アプリケーションサーバー、ロードバランサー、ストレージなどの一般的な多層アーキテクチャに関する高度な理解
- リレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) と NoSQL に関する理解
- メッセージキューおよびエンタープライズサービスバス (ESB) に関する知識
- 疎結合およびステートレスシステムの知識
- 分散システムにおける各種整合性モデルに関する理解 • コンテンツ配信ネットワーク (CDN) に関する知識
- LAN/WAN ネットワークテクノロジーに関する実践経験
- ルートテーブル、アクセスコントロールリスト、ファイアウォール、NAT、HTTP、DNS、IP、OSI ネットワークに関する経験
- RESTful ウェブサービス、XML、JSON に関する知識
- ソフトウェア開発のライフサイクルの理解
- 情報およびアプリケーションセキュリティの概念、メカニズム、ツールを使用した実務経験
- エンドユーザーコンピューティングとコラボレーションテクノロジーに関する理解

# 出題範囲 - 分野

例) ソリューションアーキテクト - アソシエイトの場合

分野	試験に占める割合
1.0 高可用性、コスト効果、耐障害性、スケーラブルなシステム的设计	60 %
2.0 実装 / デプロイ	10 %
3.0 データセキュリティ	20 %
4.0 トラブルシューティング	10 %
合計	100 %



料金の詳細など（値下げなどで）変化があるもの、頻繁に使わない機能について問うもの（知識力を試すもの）などは試験のターゲットになりにくく、実際によく使われる機能や推奨される使い方が問われる傾向となります

# 出題範囲 - 分野詳細

例) ソリューションアーキテクト - アソシエイトの場合

**分野 1.0: 高可用性、コスト効率、耐障害性、スケーラブルなシステムの設計**

クラウドアーキテクチャで考慮すべき事項 (基本構成要素や効率的な設計) の認識と識別

**出題範囲に含まれるもの**

- クラウドサービスの設計方法
- 計画と設計
- モニタリングとログ
- 以下のものへの習熟度
  - AWS アーキテクチャのベストプラクティス
  - 価格/コストを含むクライアント要件に応じた開発 (例: オンデマンド/リザーブド/スポットの選択、RTO、RPO DR デザイン)
  - アーキテクチャのトレードオフの決定 (例: 高い可用性とコストのどちらを選ぶか、Amazon Relational Database Service (RDS) と Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)への独自データベースのインストールのどちらを選ぶか)
  - ハイブリッド IT アーキテクチャ (例: Direct Connect、Storage Gateway、VPC、ディレクトリサービス)
  - 伸縮自在性とスケーラビリティ (例: Auto Scaling、SQS、ELB、CloudFront)

# 回答方法

**4つ以上**の選択肢から、設問に最もよく当てはまるもの、または回答となるものを選択する

- **択一選択問題**

選択肢の中から設問の答えとして正しいもの、または設問に該当するものを 1 つ選んで回答とする

- **複数選択問題**

選択肢の中から、設問の答えとして正しいもの、または設問に該当するものを複数選択して回答とする

択一、複数選択どちらの問題であるかは明記されており、複数選択の場合は選択する数についても明記されている

# Sample

例) ソリューションアーキテクト - アソシエイトの場合  
サーベイを行うためのウェブサイトを構築しています。サーベイはインタラクティブな PHP アプリケーションを使用して、各ビューアに動的な質問を表示します。Auto Scaling を使用し、需要がピークの際にスケールアウトし、コスト最適化のためのソリューションを提供するアーキテクチャはどれですか。

- A) ピーク時の負荷に必要なインスタンス数を計算します。Auto Scaling の最小値としてこの数値を使用します。
- B) ピーク時の負荷に必要なサイズよりも 30% 大きい Auto Scaling グループを作成します。いくつかのインスタンスを Stop し、トラフィックの増加に応じてインスタンスを Start するように Auto Scaling を構成します。
- C) 静的コンテンツを Amazon CloudFront および Amazon S3 に移動します。トラフィックが増加するとインスタンスをグループに追加するように Auto Scaling を設定します。Web アプリケーションを含む AMI を使用して起動設定を構成します。
- D) PHP アプリケーションを Amazon CloudFront および Amazon S3 に移動します。Auto Scaling を CloudFront ディストリビューションのオリジンとして設定します。

# Sample

設問からポイントとなる部分  
を判断

例) ソリューションアーキテクト - アソシエイトの場合  
サーベイを行うためのウェブサイトを構築しています。サーベイは**インタラクティブな PHP アプリケーション**を使用して、各ビューアに**動的な質問**を表示します。**Auto Scaling** を使用し、**需要がピーク**の時にスケールアウトし、**コスト最適化のためのソリューション**を提供するアーキテクチャはどれですか。

正しいアーキテクチャ、サービスの機能を選択

- A) ~~ピーク時の負荷に必要なインスタンス数を計算します。Auto Scaling の最小値としてこの数値を使用します。(ピークに合わせてプロビジョニングするため高価)~~
- B) ~~ピーク時の負荷に必要なサイズよりも 30% 大きい Auto Scaling グループを作成します。いくつかのインスタンスを Stop し、トラフィックの増加に応じてインスタンスを Start するように Auto Scaling を構成します。(Auto Scaling は launch/terminateのみstop/start を行わない)~~
- C) **静的コンテンツを Amazon CloudFront および Amazon S3 に移動します。トラフィックが増加するとインスタンスをグループに追加するように Auto Scaling を設定します。Web アプリケーションを含む AMI を使用して起動設定を構成します。**
- D) ~~PHP アプリケーションを Amazon CloudFront および Amazon S3 に移動します。Auto Scaling を CloudFront ディストリビューションのオリジンとして設定します。(Amazon S3 は PHP アプリケーションをホストできない、Auto Scaling はオリジンとならない)~~



# 試験準備

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certification-prep/>

# 認定試験の最善の準備は 実践的な経験

学習に役立つ準備マテリアル  
もご用意しています

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certification-prep/>

# 試験準備 (例)

1



トレーニングクラスの  
受講



トレーニング(クラスルーム)は、AWS を使用する  
ための技術的スキル向上、ベストプラクティ  
スを学習するのに役立ちます

# トレーニングクラスの受講

※トレーニング受講は認定取得のための必須要件ではありません

## AWS 認定試験

AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト

AWS 認定ソリューションアーキテクト - プロフェッショナル

AWS 認定デベロッパー - アソシエイト

AWS 認定システムオペレーション (SysOps) アドミニストレーター - アソシエイト

AWS 認定 DevOps エンジニア - プロフェッショナル

## おすすめの AWS トレーニング

Architecting on AWS 3日間 210,000 円  
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/architect/>

Advanced Architecting on AWS 3日間 210,000 円  
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/advanced-architecting/>

Developing on AWS 3日間 210,000 円  
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/developing/>

Systems Operations on AWS 3日間 210,000 円  
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/sysops/>

DevOps Engineering on AWS 3日間 210,000 円  
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/devops-engineering/>

# トレーニングクラスの受講

※トレーニング受講は認定取得のための必須要件ではありません

## AWS 認定試験

AWS Certified Advanced Networking - Specialty

AWS Certified Big Data - Specialty

## おすすめの AWS トレーニング

-

Big Data on AWS 3日間 210,000 円  
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/bigdata/>

# トレーニングクラスで学習できること

トレーニングでは、個々のサービスの紹介のほか、AWS においてシステム構築する際のベストプラクティスを学習します。これらは試験でも重要なポイントとなります。例:

## AWS におけるシステム構築のベストプラクティス

- スケーラビリティを確保する
- 環境を自動化する
- 使い捨て可能なリソースを使用する
- コンポーネントを疎結合化する
- サーバーではなくサービスで設計する
- 適切なデータベースソリューションを選択する
- 単一障害点をなくす
- コストを最適化する
- キャッシュを使用する
- インフラストラクチャのすべての場所でセキュリティを確保する

# 試験準備 (例)

1



トレーニングクラスの  
受講



2



認定試験ガイド、  
サンプル問題の確認



試験で取り上げられる概念、分野について確認できます。試験のサンプル問題は、自分の知識、さらに学習が必要な分野が特定できます

# 認定試験ガイド、サンプル問題の確認

各認定プログラムごとに認定試験ガイドおよびサンプル問題を用意しています。

## 試験ガイドに含まれるもの

- 必要な知識
- 回答方法
- 出題分野とその占める割合、出題範囲

### 出題範囲

- 1 範囲 1.0: AWS の基本
- 1.1 クラウドアーキテクチャで考慮すべき事項(基本構成要素や効率的な設計)の認識と識別。
- 出題範囲に含まれるもの:
- クラウドサービスの設計方法
  - データベースの概念
  - 計画と設計
  - アーキテクチャのトレードオフ(高可用性とコストのどちらを選ぶか、Amazon Relational Database Service (RDS)と Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)への独自データベースのインストールのどちらを選ぶか)についての理解
  - Amazon S3、Amazon Simple Workflow Service (SWF)、およびメッセージング
  - DynamoDB、AWS Elastic Beanstalk、AWS CloudFormation
  - 伸縮自在性と弾性性

## サンプル問題に含まれるもの

- 10題程度の問題
- 回答

Q6. インスタンス A とインスタンス B は、VPC の 2 つの異なるサブネット A と B において実行されています。インスタンス A からインスタンス B に ping を行っても応答がありません。

この原因として考えられる 2 つの理由は何ですか? 2 つ選択してください。

- A. サブネット A のルーティングテーブルに、サブネット B へのターゲットルートがない
- B. インスタンス B にアタッチされたセキュリティグループは、インバウンド ICMP トラフィックを許可しない
- C. インスタンス A の IAM ロールにリンクされたポリシーが正しく設定されていない
- D. サブネット B の NACL は、アウトバウンド ICMP トラフィックを許可しない

答え:B,D

## 試験ガイドとサンプル問題のダウンロード

認定の準備ページから個々の認定ごとに試験ガイドとサンプル問題がダウンロードできます

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certification-prep/>



# 試験準備 (例)

1



トレーニングクラスの  
受講



2



認定試験ガイド、  
サンプル問題の確認



3



QwikLABS - 認定試  
験準備クエスト



セルフペースラボを使用して  
AWS のサービスとソリューション  
を本番環境で練習しましょう

# QwikLABS - 認定試験準備クエスト

## QwikLABS とは

- qwiklab.com が提供する、標準のブラウザとインターネット環境があれば、どこからでもラボ環境（AWS の環境）にアクセスすることができる**オンラインの学習環境**。ラボの利用にはクレジットが必要（一部のラボは無料）
- <https://qwiklabs.com/>

## 認定試験準備におすすめのラボ

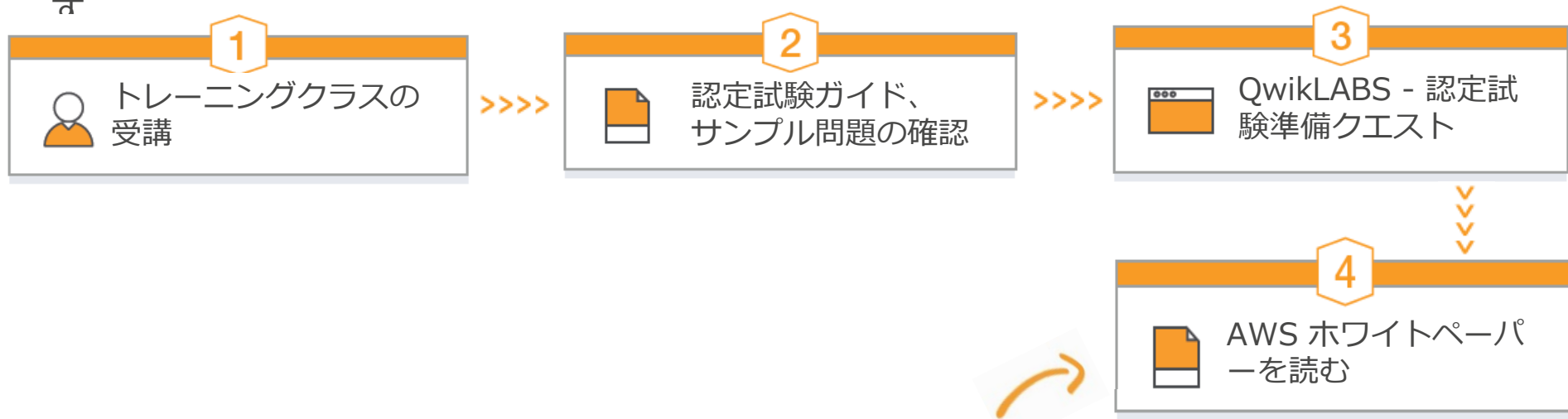
- 認定試験準備クエスト（認定準備におすすめのラボを認定プログラムごとに編成したもの）



The screenshot shows a blue banner for the "Solutions Architect - Associate" exam prep quest. It includes the text "9 ラボ・71 クレジット・5時 11分" and "EXAM PREP". Below the banner is a small green icon with a white document and pencil, and the text "SA-Associate Exam Prep". Below the icon is a paragraph of text: "This quest is designed to help you get hands-on practice with several key services which are addressed in the AWS Certified Solutions Architect - Associate exam blueprint. Practice fundamental and advanced concepts for working with Amazon EC2, Amazon CloudFront, Amazon EBS, AWS IAM, and Amazon VPC". At the bottom right is an orange button with the text "ENROLL IN THIS QUEST".

# 試験準備 (例)

認定試験の最善の準備は**実践的な経験**です。その他学習に役立つ準備資料もご用意しています



AWS、独立したアナリスト、AWS パートナーが執筆したホワイトペーパーを読んで、技術的な理解を深めましょう

# AWS ホワイトペーパーを読む

## AWS ホワイトペーパー

ここでは、アーキテクチャ、セキュリティ、エコノミクスなどのトピックを扱った AWS の技術的なホワイトペーパーがすべてリストアップされています。このホワイトペーパーの執筆者は、AWS チーム、独立したアナリスト、または AWS コミュニティ (非営利またはパートナー) です。業界アナリストによって作成されたレポートを同じように、ここをクリックしてください。このページは、ホワイトペーパーレポートの作成および更新に合わせて、定期的に更新されます。

## AWS ホワイトペーパーとは

- アーキテクチャー、セキュリティ、エコノミクスなどのトピックを扱った AWS の技術的なホワイトペーパー
- <https://aws.amazon.com/jp/whitepapers/>

## 認定試験準備におすすめのホワイトペーパー (現状はほとんど英語での提供)

- クラウドコンピューティングのための アーキテクチャベストプラクティス  
[https://d0.awsstatic.com/whitepapers/AWS\\_Cloud\\_Best\\_Practices.pdf](https://d0.awsstatic.com/whitepapers/AWS_Cloud_Best_Practices.pdf)
- AWS セキュリティのベストプラクティス  
[https://d0.awsstatic.com/whitepapers/Security/AWS\\_Security\\_Best\\_Practices.pdf](https://d0.awsstatic.com/whitepapers/Security/AWS_Security_Best_Practices.pdf)
- AWS での開発とテスト  
[http://media.amazonwebservices.com/AWS\\_Development\\_Test\\_Environments.pdf](http://media.amazonwebservices.com/AWS_Development_Test_Environments.pdf)
- AWS を使用したバックアップと復旧のアプローチ  
[https://d0.awsstatic.com/whitepapers/Backup\\_Archive\\_and\\_Restore\\_Approaches\\_Using\\_AWS.pdf](https://d0.awsstatic.com/whitepapers/Backup_Archive_and_Restore_Approaches_Using_AWS.pdf)
- Amazon Virtual Private Cloud のネットワーク接続オプション  
[http://media.amazonwebservices.com/AWS\\_Amazon\\_VPC\\_Connectivity\\_Options.pdf](http://media.amazonwebservices.com/AWS_Amazon_VPC_Connectivity_Options.pdf)
- How AWS Pricing Works  
[http://d0.awsstatic.com/whitepapers/aws\\_pricing\\_overview.pdf](http://d0.awsstatic.com/whitepapers/aws_pricing_overview.pdf)

# 試験準備 (例)



よくある質問の一覧を参照して、一般的な質問と問題に関する理解を深めましょう



# AWS FAQ の確認

## AWS FAQ とは

- 個々のサービスごとによく聞かれる質問への回答をまとめたサイト
- <https://aws.amazon.com/jp/faqs/>



## 認定試験準備に向けて確認しておくべき FAQ

Amazon EC2, Amazon S3, Amazon VPC, Amazon Route 53, Amazon RDS, Amazon SQS

# 試験準備 (例)



↑  
一部の認定では、認定試験用のワークショップが用意されています

# 認定試験準備ワークショップの受講

## AWS 認定試験準備ワークショップとは

- AWS 認定試験の学習をひととおり完了された方に向けた、試験のポイントを整理するためのワークショップ
- 以下トレーニング受講は認定取得のための必須要件ではありません

## 認定試験

AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト

AWS 認定ソリューションアーキテクト - プロフェッショナル

## おすすめのワークショップ

AWS 認定試験準備ワークショップ: AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト 4時間 35,000円  
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/exam-workshop-solutions-architect-associate/>

AWS 認定試験準備ワークショップ: AWS 認定ソリューションアーキテクト - プロフェッショナル 1日 70,000円  
近日公開 ※**AWS Summit Tokyo 2017** にて先行公開



# 試験準備 (例)



# 模擬試験の受験

## 模擬試験とは

- 各試験分野での**理解度を測定する**ために使用
- 模擬試験問題や解答を入手することは**できない**

## 模擬試験の詳細

- 所要時間
  - アソシエイト模擬試験および Devopsエンジニア- プロフェッショナル模擬試験: **30 分間**
  - ソリューションアーキテクト-プロフェッショナル模擬試験: **90 分間**
- 出題数
  - アソシエイト模擬試験およびDevopsエンジニア-プロフェッショナル模擬試験: **20 問**
  - ソリューションアーキテクト- プロフェッショナル模擬試験: **40 問**
- 受験料
  - アソシエイト模擬試験およびDevopsエンジニア-プロフェッショナル模擬試験: **2,160 円**
  - ソリューションアーキテクト- プロフェッショナル模擬試験: **4,320 円**

## 模擬試験申し込み先

- <https://www.aws.training/> ※ 通常の認定試験と同じように申し込みます

# 試験準備 (例)



# その他リファレンス

# AWS 初心者向け学習リソース

無料オンライン動画とセルフペースラボ

[https://aws.amazon.com/jp/training/intro\\_series/](https://aws.amazon.com/jp/training/intro_series/)

## コンピューティング



Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) 入門 - 日本語版  
セルフペースラボを受講 ▶



Amazon EC2 Container Service 入門  
セルフペースラボを受講 ▶



Elastic Load Balancing 入門  
セルフペースラボを受講 ▶

この動画は、日本語、ドイツ語、およびロシア語でもご覧いただけます。



新規 - AWS Lambda の概要  
セルフペースラボを受講 ▶

## ネットワーキング



新規 - Amazon Route 53 入門  
セルフペースラボを受講 ▶



Amazon Virtual Private Cloud (VPC) 入門-日本語版  
セルフペースラボを受講 ▶

## セキュリティとアイデンティティ



AWS Identity and Access Management (IAM) 入門-日本語版  
セルフペースラボを受講 ▶



Amazon Key Management Service 入門  
セルフペースラボを受講 ▶

# AWS 製品ページ

製品の特徴、料金、開始方法、よくある質問など

<https://aws.amazon.com/jp/products/>

The screenshot shows the AWS product page for Amazon EC2. At the top, there are navigation icons for various AWS services: コンピューティング (Computing), ストレージ (Storage), データベース (Database), 移行 (Migration), and ネットワークとコンテンツ配信 (Network and Content Delivery). Below these, there are three main product cards: Amazon EC2 (クラウド内の仮想サーバー), Amazon EC2 Container Registry (Amazon EC2 Container Registry Docker イメージの保存と取得), and Amazon EC2 Container Service (Amazon EC2 Container Service Docker コンテナを実行および管理). The main content area features a large yellow banner with the Amazon EC2 logo and the text: "クラウド内の安全でサイズ変更可能なコンピューティング性能。前払いの義務なしで必要なときにアプリケーションを起動。" (Secure, resizable computing performance in the cloud. Start your application when you need it, without the obligation of prepayment.) Below the banner is a button labeled "Amazon EC2 の使用を開始する" (Start using Amazon EC2). At the bottom, there are navigation links: 製品の詳細 (Product details), インスタンスタイプ (Instance types), 料金 (Pricing), 開始方法 (Getting started), よくある質問 (FAQ), and リソース (Resources).

# AWS ドキュメント

初心者向けの入門ガイドから上級者向けの高度な機能の解説まで

<https://aws.amazon.com/jp/documentation/>

サービス 開始方法

## コンピューティング

Amazon EC2  
Amazon EC2 Container Registry  
Amazon EC2 Container Service  
Amazon Lightsail  
Amazon VPC  
AWS Batch  
AWS Elastic Beanstalk  
AWS Lambda  
Auto Scaling  
Elastic Load Balancing

## 開発者用ツール

AWS CodeStar  
AWS CodeCommit  
AWS CodeBuild  
AWS CodeDeploy  
AWS CodePipeline  
AWS X-Ray  
AWS のツールと SDK

## 管理ツール

Amazon CloudWatch  
AWS CloudFormation

## IoT

AWS IoT

## コンタクトセンター

Amazon Connect

## ゲーム開発

Amazon Lumberyard (ベータ)  
Amazon GameLift

## モバイルサービス

AWS Mobile Hub

## SDK とツールキット

AWS SDK for C++  
AWS SDK for Go  
AWS SDK for Java  
AWS SDK for JavaScript  
AWS SDK for .NET  
AWS SDK for PHP  
AWS SDK for Python (Boto3)  
AWS SDK for Ruby  
AWS Toolkit for Eclipse  
AWS Toolkit for Visual Studio

# Blog

最新情報、製品機能の紹介、イベントのアナウンスなど

- AWS Blog (JP)  
<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/>
- AWS Solution Architect ブログ (JP)  
<http://aws.typepad.com/sajp/>
- AWS Partner SA ブログ (JP)  
[http://aws.typepad.com/aws\\_partner\\_sa/](http://aws.typepad.com/aws_partner_sa/)

## Amazon Web Services ブログ

GTC 2017にてAWSとNVIDIAは深層学習のパートナーシップを拡大させました

by AWS Japan Staff | on 11 MAY 2017 | In Amazon EC2, Apache MXNet, Deep Learning | Permalink





# AWS の最新情報

AWS からの最新のお知らせ（全体、カテゴリ別）

日本語: <https://aws.amazon.com/jp/new/>

英語: <https://aws.amazon.com/new/>

**AWS の最新情報 - クラウドイノベーション & ニュース**

AWS クラウドプラットフォームは日ごとに拡大しています。実際、ちょうど先週 19 もの新しい機能を追加しました。

以下のボックスからジャンプして、新機能に関する詳細な説明またはブログ記事を参照できます。このページをブックマークして、最新情報を購読してください。

カテゴリ別に検索

## AWS からの最新のお知らせ

日付	お知らせ
May 02	AWS Storage Gateway がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンで利用可能に
May 01	Amazon Simple Queue Service (SQS) が HIPAA 対応サービスに
Apr 28	Amazon Simple Queue Service (SQS) で、キューのサーバー側の暗号化を導入
Apr 24	AWS IAM で RDS for MySQL と Amazon Aurora データベースへのアクセスを管理

# AWS Answers

AWS クラウドにおけるアプリケーションのアーキテクチャ設計、構築、実行に関するよくある質問に対する明確な回答

<https://aws.amazon.com/jp/answers/>

## AWS Answers

アマゾン ウェブ サービスクラウドにおけるアプリケーションのアーキテクチャ設計、構築、実行に関するよくある質問に対する明確な回答

まずは無料で始める

セールスにお問い合わせ

AWS Answers は、AWS アーキテクトが開発したドキュメントやソリューションのリポジトリで、AWS クラウドを構築して拡大するのに役立つ方法を説明しています。ここでは、アカウント管理、ビッグデータ、ネットワーキング、セキュリティといったさまざまなトピックについて、よくある質問の答えを入手できます。これらの答えでは AWS のベストプラクティスが説明され、規範的なアーキテクチャのガイダンスが提供されると同時に、AWS アカウントに数分でデプロイ可能な自動化されたソリューションも用意されています。カテゴリ別または名前順にブラウズして、必要な答えやソリューションを見つけられます。

AWS によるコストの最適化

AWS によってクラウドの支出を最適化できます。



# AWS サポート - ナリッジセンター

AWS サポートに対する利用中のお客様からのよくあるご質問やご要望

<https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/knowledge-center/>

## 製品 & サービス

- AWS サポート >
- 開発者サポートプラン >
- ビジネスサポートプラン >
- エンタープライズサポートプラン >
- AWS サポートのプラン比較 >
- 料金 >
- 開発者サポートにおける初回応答時間の考え方 >
- お客様の声 >
- Trusted Advisor >
- イベント管理 >
- 最新情報 >

## ナリッジセンター

ここでは、AWS をご利用のお客様からのよくあるご質問やご要望をご紹介します。お知りになりたいことがここにはない場合は、[AWS ドキュメント](#)や [AWS ディスカッションフォーラム](#)をチェックするか、[AWS サポートセンター](#)にアクセスしてください。

[Amazon EC2](#) [新規]

[Amazon ECS](#) [新規]

[Amazon VPC](#)

[Auto Scaling](#)

[Elastic Load Balancing](#)

[Amazon EBS](#)

[Amazon Route 53](#) [新規]

[Identity and Access Management](#)

[\(IAM\)](#) [新規]

[Amazon S3](#)

[Amazon Glacier](#) [新規]

[Amazon SES](#) [新規]

[Amazon RDS](#)

[Amazon Redshift](#)

[AWS CloudFormation](#)

[AWS OpsWorks](#)

[Amazon CloudFront](#)

[AWS KMS](#) [新規]

[AWS Lambda](#) [新規]

[アカウントと請求の管理](#)

[リソース管理](#)

[ベストプラクティス](#)

### 主な記事

- [AWS CLI を使用して、Amazon S3 にファイルをマルチパートメッセージアップロードする方法を教えてください。](#)
- [計画している AWS リソース設定の費用を見積もる方法を教えてください。](#)

### 最近投稿されたもの

- [AWS Lambda 関数を作成して Amazon SES の Amazon SNS 通知内容を Amazon DynamoDB データベースに保存する方法を教えてください。](#)
- [アカウントと請求の管理に新規項目多数](#)

# セミナー

国内のクラウドセミナー・イベントスケジュール、申し込みリンク

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/>

オンラインセミナースケジュール、申し込みリンク

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/webinars/>



AWS

**Black Belt**

Online Seminar

# セミナー過去資料 - AWS クラウドサービス活用資料集

セミナー資料、オンデマンドセミナー動画へのリンク集

<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/>



## サービス別資料

コンピューティング    ストレージ & コンテンツ配信    データベース    ネットワーキング  
開発者用ツール    管理ツール    セキュリティ & アイデンティティ    分析  
IoT    ゲーム開発    モバイルサービス    アプリケーションサービス    エンタープライズアプリケーション  
その他

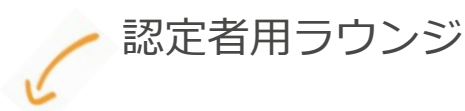
## コンピューティング

Amazon EC2	[Amazon EC2]	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Amazon EC2] Windows	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Amazon EC2] HPC	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Amazon EC2] リザーブドインスタンス	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー

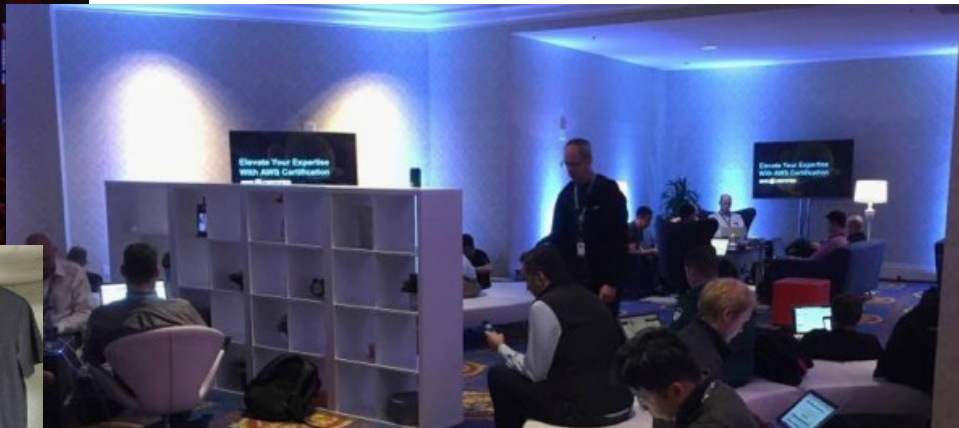
# イベント

新サービスの発表、テクニカルセッション、事例セッション、パートナー企業様の展示など

AWS re:Invent (グローバル) <https://reinvent.awsevents.com/>



認定者用ラウンジ



認定者へのプレゼント



# イベント

新サービスの発表、テクニカルセッション、事例セッション、パートナー企業様の展示など

AWS Summit Tokyo (JP) <http://www.awssummit.tokyo/>



The image shows the homepage of the AWS Summit Tokyo event. At the top, there is a dark blue navigation bar with the Amazon Web Services logo on the left and several menu items: 'トップ', 'Dive Deep Day', 'AWS Summit', 'AWS Dev Day', '展示スペース', 'トレーニング', 'スポンサー', 'アクセス', and 'お申し込み'. The main content area has a blue background with a pattern of white plus signs and circles. In the center, the text 'AWS SUMMIT Tokyo' is displayed, with 'AWS' in orange, 'SUMMIT' in white on an orange background, and 'Tokyo' in white on a blue background. Below this, the dates '2017年5月30日(火) ~ 6月2日(金)' are shown in white. Underneath the dates, the venue information 'グランドプリンスホテル新高輪、品川プリンスホテル アネックスタワー | 来場無料' is written in white. At the bottom, there is a yellow button with the text '無料来場お申し込みはこちら' in black.

# AWS Summit Tokyo - 認定者向け特典

## 認定ラウンジ・認定パーティー

### AWS 認定資格取得者専用ラウンジ

AWS Summit Tokyo 2017 期間中に AWS 認定資格取得者専用ラウンジをオープンします。

他の AWS 認定資格をお持ちの方とのネットワーキングにぜひラウンジをご活用ください。お席や電源タップ、お飲物などを用意し、皆様をお待ちしております。入場の際、認定資格情報をご確認ください。

日時	5月31日(水)～6月2日(金) 12:00～18:00	<b>専用ラウンジにて認定資格取得者の皆様にプレゼントを差し上げます！</b> AWS 認定資格取得者の皆様にプレゼントをご用意しております。プレゼントは一日150個限定となっておりますので、お早目にいらしてください。
場所	グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 1F 特設会場	
対象	<b>AWS 認定資格をお持ちの方</b>  ※専用ラウンジの入場の際、認定資格情報をご確認ください。	





# AWS Summit Tokyo - 認定者向け特典

## 認定ラウンジ・認定パーティー

### AWS 認定者向けパーティー（ハッピーアワー）

AWS Summit Tokyo 2017 の打ち上げも兼ねて、AWS 認定取得者のためのハッピーアワーを設けます。軽食やビールなどをご用意しておりますので認定者同士のネットワーキングの場として、是非足を運んでみて下さい。

※軽食、ビールは無料ですが、数に限りがございますのでお早めにご来場ください。

日時	6月1日(木) 18:30~20:00
場所	グランドプリンスホテル新高輪 国際館バミール 2F 松葉
参加条件	認定者バッジをお持ちの方（事前に認定ラウンジで受け取ってください。）

# AWS Summit Tokyo - 認定試験の申し込み

## AWS 認定試験

AWS 案件の増加により AWS 技術者の需要が跳ね上がり、技術レベルを証明する手段としての認定資格に注目が集まっています。AWS Summit Tokyo 2017 でも、特設の認定試験会場をご用意しました。まだ認定を取得されていない技術者の方は、この機会に是非取得いただき、認定ラウンジにてプレゼントを受け取り、認定パーティーにて技術者のネットワークを広げてみて下さい。

### AWS Summit Tokyo 2017 特設会場限定特典！

AWS Summit Tokyo 2017 特設会場にて認定試験を受験いただいた方にもれなく、次回認定試験受験にご利用いただける **50% ディスカウントクーポン**を差し上げます。

AWS Summit で認定試験が受験できます

50% ディスカウントクーポンが貰えます

日時	5月31日(水)～6月1日(木)
場所	グランドプリンスホテル新高輪 国際館バミール 2F 若葉

<http://www.awssummit.tokyo/training/index.html#certification>

にてお申し込み受け付け中です

# Questions?

# 本資料の配置場所

- AWS クラウドサービス活用資料集

<http://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/>



サービス別資料

無料オンラインセミナー「Black Belt Online Seminar」のサービスカット資料他、AWSのTechメンバーによる各サービスの解説資料がご覧いただけます。



ソリューション別資料

無料オンラインセミナー「Black Belt Online Seminar」のソリューションカット資料他、特定のソリューションについてのAWS活用方法がご覧いただけます。



業種別資料

無料オンラインセミナー「Black Belt Online Seminar」のインダストリーカット資料他、特定の業界のユースケースがご覧いただけます。



その他の資料

イベントに関する資料やアップデート情報などがご覧いただけます。

- AWS Solutions Architect ブログ

最新の情報、セミナー中のQ&A等が掲載されています

<http://aws.typepad.com/sajp/>

# 公式 Twitter / Facebook AWS の最新情報をお届けします



@awscloud\_jp



検索



もしくは  
<http://on.fb.me/1vR8yWm>

最新技術情報、イベント情報、お役立ち情報、  
お得なキャンペーン情報などを日々更新しています！

# AWS の導入、お問い合わせのご相談

AWSクラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は以下のリンクよりお気軽にご相談ください

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>



The screenshot shows a web page with a navigation menu on the left containing 'お問い合わせ' (Contact Us), '日本担当チームへのお問い合わせ' (Contact Us - Japan Team), '関連リンク' (Related Links), and 'フォーラム' (Forum). The main content area is titled '日本担当チームへのお問い合わせ' (Contact Us - Japan Team) and contains the following text: 'AWS クラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は、以下のフォームよりお気軽にご相談ください。平日営業時間内に日本オフィス担当者よりご連絡させていただきます。' (For customers who have questions, requests for quotes, or request materials for AWS cloud adoption, please contact us via the form below. We will contact you from our Japan office staff during business hours on weekdays.) Below this is a note: '※ご請求金額またはアカウントに関する質問はこちらからお問い合わせください。' (Please contact us here for questions regarding request amounts or accounts.) and another note: '※Amazon.com または Kindle のサポートにお問い合わせはこちらからお問い合わせください。' (Please contact us here for support regarding Amazon.com or Kindle.) A note below the text states: 'アスタリスク (\*) は必須情報となります。' (Asterisk (\*) indicates required information.) There are two input fields: one for '姓\*' (Last Name) and one for '名\*' (First Name).

※「AWS お問い合わせ」で検索してください

